

遠野市監査委員告示第7号

平成30年8月21日

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成29年度に財政援助を与えた団体に対する監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果を別紙のとおり公表します。

遠野市監査委員 佐藤 サヨ子

遠野市監査委員 佐々木 資 光

遠野市監査委員 瀧 本 孝 一

平成30年度財政援助団体監査結果報告書（平成29年度財政援助分）

1 監査の期日及び対象

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、平成29年度に財政援助を行った団体のうち次の団体に係る事務の執行について、書類監査は平成30年7月3日の1日間、担当各課及び各団体からの聞き取りによる監査は下表の日程で2日間、延べ3日間実施した。

期日	団体名	補助金等の名称（交付先等）	交付金額	市担当課名
7月6日 (金)	遠野地方有害鳥獣 駆除協議会	遠野市有害鳥獣被害対策事業費 補助金	14,609,631円	農林課
7月9日 (月)	遠野交通株式会社	遠野市地方バス路線対策事業費 補助金（廃止路線等代替バス運 行費補助金）	7,852,200円	市民協働課
	岩中酪農南地区畜 産クラスター協議 会	遠野市畜産競争力強化整備事業 費補助金	63,392,000円	畜産園芸課

2 監査の内容

補助金等に係る交付決定の事務及び支出事務の執行状況

3 監査の手順

- (1) 平成29年度において市がおおむね1,000万円以上の補助金、交付金等により財政的援助を行っている団体を抽出し監査対象とした。
- (2) 事前に監査対象項目に係る諸帳簿等の提出を求め、その内容について照合確認するとともに関係職員等から説明を聴取して実施した。
- (3) 法令に違反していないか、規則や要綱等に基づいて処理されているか、金員の用途は交付の趣旨に合致しているか等について監査した。

4 監査の結果

監査した3団体とも、補助金等に係る事業の公益性や補助事業者の適格性などを審査したところ、必要と認められる事業・団体等に支出され、交付目的や補助金等の対象事業の内容等も明確になっており、関係法令、要綱等への適合性、算定方法や交付時期の妥当性及び実績報告、完了確認、額の確定といった事務については、概ね適正に処理されていた。

なお、遠野市地方バス路線対策事業費補助金において、利用者の動向や意向は今後のバス運行計画などを検討する上で必要不可欠な資料であることから、市・遠野交通株式会社が連携を図って細やかな調査とフォローに努める必要がある。

監査対象とした財政援助団体ごとの監査の結果については、次のとおりである。

(1) 遠野市有害鳥獣駆除協議会

補助金の名称	遠野市有害鳥獣被害対策事業費補助金
交 付 額	14,609,631円
目 的	有害鳥獣による農作物等の被害防止を図り、もって農作物の安定した収量を確保するため、遠野地方有害鳥獣駆除協議会が農業者等に対して行う電気牧柵の購入助成等に要する経費について、補助金を交付する。
特 記 事 項	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 増加傾向にある有害鳥獣被害への対策は、当市の主要産業である一次産業を営む農家にとって重要な課題であるばかりでなく、市民生活並びに旅行者等滞在者の安心安全確保の面からも重要な施策であると思われる。</p> <p>協議会を中心に有効に活用され、防除・駆除に一定の成果が認められる。また、電気牧柵購入事業については、助成対象を農業者個人又は3名以上で構成される団体とするなど、比較的ハードルを低くし、利用しやすいように工夫をしていた。</p> <p>今年度から協議会構成団体が1団体増えたことから、更なる連携強化を望むとともに、幅広い視野と長期予測も踏まえた計画を立案し、着実な成果が積み上げられるよう引き続き努力されたい。</p>

(2) 遠野交通株式会社

補助金の名称	遠野市地方バス路線対策事業費補助金（廃止路線等代替バス運行費補助金）
交 付 額	7,852,200円
目 的	市民生活に必要不可欠なバスの確保及び維持のため、道路運送法に規定する一般旅客自動車運送事業を営業者が廃止したバス路線等におけるバス運行に要する経費について、補助金を交付する。
特 記 事 項	<p>〔指摘事項〕 特になし</p> <p>〔意見・要望〕 路線バスが廃止された区域の住民に生活の足を確保・提供する代替交通手段であり、高齢者や交通弱者には特に必要とされる事業補助金である。</p> <p>事前予約に基づくデマンド型交通方式による運行であるが、運行対象地域の住民に定着し、利用者満足度も高まっていることがうかがえ、事業としては評価できる。</p> <p>このデマンドバス運行では、工夫次第で様々なデータが収集できると考えられることから、少子高齢・過疎の波が更に強まるばかりの今後の交通弱者対策に向けて、利用者数の把握にとどまらない情報収集と分析のあり方を検討してほしい。</p> <p>今後の事業運営において、経済性と市民サービス維持との間におけるバランス調整が必要になる等、難しい課題がうかがえることから、担当課において力量を発揮されることを期待する。</p>

(3) 岩中酪農南地区畜産クラスター協議会

補助金の名称	遠野市畜産競争力強化整備事業費補助金
交 付 額	63,392,000円
目 的	畜産の生産基盤を確保するとともに、畜産の競争力及び収益性の向上を図るため、畜産・酪農収益強化総合対策基金事業実施要綱及び畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業実施要領により岩手県知事の認定を受けた畜産クラスター計画を有する事業実施主体が、岩手県畜産競争力強化整備事業要綱第4の2により承認を受けた事業を行う場合に要する経費について、補助金を交付する。
特 記 事 項	<p>[指摘事項] 特になし</p> <p>[意見・要望] 酪農の規模拡大を志す若者等にとっては、最新設備の導入を図りやすくチャレンジできる補助金である。 本事業の推進に当たり、関係機関・団体と協議会を設立し経営主体をサポートする仕組みが構築されていた。 今後は、関係機関・団体と担当課とが連携を密にして事業が順調かつ円滑に軌道に乗るよう導き、多くの若者が酪農に魅力を持ち、地域産業を発展させる機運を盛り上げられたい。 将来を担う若い世代の酪農家の取り組み意欲を更に高めることが可能な事例として、本事業の今後の展開に期待したい。</p>